授業科目名	データベース			年 次		2年	
				学 科		ITビジネス科	
担当教員名	藤村 龍一			開講年度 ・ 学期		2023年度 ・ 通年	
授業の方法	実習	週時限数	3	年間授業時数	114時間	科目区分	必須
実務経験の有無	有	実務経験	システムエンジニアとしてシステム開発（概要設計～運用テスト）に10年以上携わる。応用情報技術者試験、Oracle認定Javaプログラマなどの資格を保有。				
授業の概要（実務経験を活かした教育内容）	本科目は、データベースの基本理論・設計を理解し、SQLを用いた操作方法を学ぶことを目的としています。データベース技術は、情報化社会においてさまざまな情報の統合利用を実現するうえで、重要な基盤技術のひとつです。データベース言語のSQLを学ぶことで、データベースの操作方法を学ぶことができます。						
授業の到達目標	1. データベース言語のSQLを理解し、データベース内の情報を操作することができる。 2. プログラム(Java)からドライバー経由でデータベースを操作する方法が理解できる。						

授業計画	月	内容
	4	・はじめてのSQL ・基本文法と4大命令(Select,Insert)
	5	・基本文法と4大命令(Update,Delete) ・操作する行の絞り込み
	6	・検索結果の加工 ・式と関数
	7	・集計とグループ化
	8	－
	9	・前期末試験実施
	10	・副問い合わせ
	11	・複数テーブルの結合 ・トランザクション
	12	・テーブルの作成 ・プログラムからデータベースへのアクセス方法①
	1	・プログラムからデータベースへのアクセス方法② ・卒業試験実施
	2	－
	3	－

成績評価の方法	前期(9月)と後期(1月)の定期試験で評価を行う。 成績評価：優(100～90)・良(89～70)・可(69～40)・不可(39～0)
準備学習・事後学習等	教科書を読み、SQL言語の仕様について予習をしておくこと。 自力で解けない、または理解が足りなかった課題については、しっかり復習しておくこと。
テキスト	スッキリわかるSQL入門[インプレス]
参考書・参考資料等	なし
その他（学生に対する要望、メッセージ）	SQLはデータベース言語としてISO(国際標準化機構)で規格化されています。そのため、1つのデータベース用のSQLを覚えると、その他のほとんどのRDBで同じように利用できます。開発現場では、案件により利用するプログラム言語は様々ですが、データベースの言語はSQLが利用されます。学生のうちに、SQL言語を理解しておくことで、社会に出てからのアドバンテージを得られます。